



広島県議会議員

# まとはば 豊

地域発！こころ豊かなまちづくり！

## 県政報告

No. 15

2018年11月

事務所

〒720-0067  
福山市西町一丁目7-11  
TEL 084-973-9770  
FAX 084-973-9771

9月定例会 9月18日～10月2日  
臨時会 8月3日(豪雨災害緊急対応)

# 豪雨災害の復旧・復興に 2000億円余りの補正 議員提案「広島県産木材利用促進条例」を可決

9月定例会県議会は、15日間の会期で開催され7月の豪雨災害に伴う被災者支援・災害復旧事業等総額737億100万円の一一般会計補正予算と「国土強靱化に向けた防災・減災対策の充実強化を求める意見書」などを審議し、可決しました。



9月定例会では、七月豪雨災害の復旧・復興に関わる「被災者支援」や「災害復旧事業等」を実施するための671億円余り、8月臨時会の1325億円と合わせると2000億円余りの「災害緊急補正予算」を計上しています。  
また、「旧優生保護法による被災者救済を求める意見書(民主県政改提案)」「私学助成の充実強化を求める意見書」などの審議を行い、原案どおり可決されました。

## 知事説明

冒頭湯崎知事は、7月の豪雨災害について、「犠牲となられました方々に対しまして、衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様にお見舞いを申しあげます。」と述べた。

「復旧・復興への取組」  
被災者の見守り・相談支援体制として「県地域支え合いセンター」「こころのケアチーム」を開設。

- ◇被災企業支援「グループ補助金」事業債券を支援する「持続化補助金」を実施。
  - ◇緊急度の高い河川の土砂撤去を来年6月までに実施。
  - ◇改良復旧を積極的に活用するとともに被災発生を要因を踏まえた工法を選定。
  - ◇被災した「ため池」の復旧工事を推進。「ため池」の整備、廃止及び管理に対する方針を策定し、防災機能の確保と利水機能の維持に努める。
- ◇「朝ごはんモデル推進事業」について、早期の事業実施に向け準備
- ◇大学進学時の経済的負担を軽減する新たな給付金について11月上旬に内定者決定
- ◇ブロック塀等の安全確保対策については、撤去や改修等を速やかに行い、早期に安全確保策を講じる。

## 民主県政会一般質問

私の所属する民主県政会から、三人が

広島県議会議員選挙  
2019年4月上旬執行(予定)  
☆連合福山地協推薦決定  
〈7月3日：連合福山幹事会〉



＝連合福山大野議長と  
固い握手！<みやび>＝  
～働くものの代表として  
「まとはば 豊」次なる挑戦へ～

質問に立ちました。  
〔鷹廣純議員(広島市安佐南区)〕

- 教育委員会における障がい者雇用の水増し問題について
  - 会計年度任用職員制度の創設に伴う労働条件の改善について
  - 病院と助産師の連携について
  - 産後ケア事業や助産師のノウハウを生かしたネウボラの運営について 等
- 質問 ネウボラの運営に助産院のノウハウをしっかりと生かしていただきたいと考えるが知事の所見を問う。

知事答弁 ひろしま版ネウボラにおいて、産後ケア事業を必須のサービスの一つと位置づけている。全県展開にあたっては助産院を含む医療関係者と連携し、豊富な知見を活用しながら、産前・産後ケアの充実を図ることで、安心して妊娠・出産・子育てができる広島県の実現をめざす。

〔金口巖(尾道市)〕  
7月豪雨災害による山地崩壊(土砂崩れ624箇所)の復旧対応について  
災害時の一人暮らしの高齢者の避難方法について

田植え part II  
昨年の稲作挑戦で終わりと決め、籾種を残さなかった。しかし、なんと兄の一周忌に若い甥が「皆で頑張る米を作ろう！」と親族の前で「稲作継続宣言」をした。内心大丈夫かと思ったが、逆に皆が団結する結果となった。人々の自我の確立とは思わぬところで覚醒するものである。

昨年の田ごしらえの時に「ため池」で助けた亀の親子のことを思い出しながら、田に“水をあて”るため、池へと向かった。池の樋を抜きに降りると、今年は池の管理をしている方がその取水口に金網をかぶせていた。ほほう、なるほど！起きた事象への対症療法だけを施した私と違い、その方は原因の根本を解決し、亀の家族が住む環境を整備したのである。“亀の恩返し”は下心のある私ではなく、その恩人に与えられたのであろう。納得！

その瞬間に頭を過ぎった。政治の場において物事の本質を見極める大切さを忘れかけていないか？

～政治への志、忘れるべからず～  
この度の豪雨災害後から、事あるごとに訴え続けた。災害が起きたときに災害前の現状復元にとどまらず、その地域に災害が起きた原因究明から根本解決へ、防災・未来への持続可能な地域社会への形成に向けた『地域改善への復興』が求められている、と。今年、田植えの改善を試みた。効率的農業と収穫高アップを考え、田の縦長の列で稲を植えてみた。以前、農業IoTのベンチャー企業を調査した際、『「肥料や水あての量、土壌」「農業の匠がトラクターで耕す軌跡」「田植えと直播きの費用対効果の比較」などをデータ分析し、労働生産性を向上させ、収穫高をあげる』との話を聞いた。農業もここまで進んできたかと思心した。将来の農業や防災では、ため池の水位管理や肥料・水あてのデータ化にIoTは必須になると理解する反面、「食」だけは、大量生産大量消費の市場経済万能主義を追い求めるのではなく、食の安心・安全や、自然との共生、“地産池消”そして、地域に根づく「コンパクトな流通経済活動」が大切なのは、と私は考えている。

泥落としは、老いも若きも幼子もみんなでバーベキュー。その後の「蛍」の乱舞に皆で大歓声！小さい子の心に“蛍のほのかな光”はどう映っているのだろうか？

～田植えあと 水面に揺らぐ蛍の灯～ (2018年文月作)



被災による離農を防ぐための農業者等への支援について  
(農地の被害箇所8500あまり、被害額176億円)  
緊急時のための海路確保輸送の確保について 等

〔大童英徳議員(呉市)〕  
2014年広島市の安佐北区・安佐南区の局地集中豪雨大災害の経験が生かされなかった災害発生までの対応、生かされた災害発生後と復旧・復興対応、また、大災害になった要因と多数の犠牲者を出した要因について

## 活動日誌

7月 3日(火) 連合福山地域協議会幹事会=推薦決定=(みやび)
4日(水) 反核平和の火リレー総決起集会(市体育館)
9日(月) 備後地域振興協議会総会
12日(木) 備後地域振興協議会国交省・国会要望活動(東京)
19日(木) 豪雨災害民主県政会緊急要請～副知事～(県議会)
28日(土) 平和行進(市役所～松永支所) 緑陽町夏祭り(千田町緑陽町公園)
29日(日) 日本郵政グループ労働組合福山支部定期大会(みやび) 日本郵政グループ労働組合備南東部支部定期大会(みやび)
8月 1日(水) 第31回縮景園原爆犠牲者慰霊供養式(広島市)
4日(土) 東学区民盆踊り大会(東小学校) 千田学区ふるさと盆踊り大会(千田小学校)
5日(日) 被爆73年連合2018平和ヒロシマ集会(広島市)
8日(火) 第64回原爆・福山戦災死没者慰霊式(中央公園)
17日(金) 知事へ9月補正(災害復旧)予算要求(知事室)
29日(火) 自治体議員連合会議<災害復旧予算説明>(広島市)
31日(金) 警察・商工労働委員会県内調査(鞆町)
9月 3日(月) 文教委員会県内調査(三原市・大崎上島町)
13日(木) 連合広島2018政策・制度要求討論集会(広島市)
15日(土) 第73回備後通運労働組合定期大会(みやび)
16日(日) 千田学区スポーツ祭(千田小学校)
17日(月) 東学区敬老会(東小学校)
22日(土) 早川ゴム労働組合定期大会(松浜町) 広島化成労働組合定期大会(松浜町) 福山ゴム労働組合定期大会(松浜町)



### 湯崎知事へ 豪雨災害の早期復旧を要望

8月17日湯崎知事へ、民主県政会所属議員15名で「9月定例会補正予算」に対する要望を行いました。

特にこの度の豪雨災害を受け◆JR線や道路などの交通アクセスの早期復旧◆上水道の水源の多重化◆河川の越水対策や浚渫等を要望しました。私は知事に対し、福山市や府中市のため池が決壊し、3歳の子どもが亡くなった悲惨な被災状況や地域のライフラインが崩壊している実態を現場写真も提示しながら指摘し、早期の応急工事と将来にわたる「地域改善復興」を要請しました。

**的場要請** 広島県はものづくりの小さい町工場や事業所があり、この災害を受けて閉じてしまふことは避けなければならぬ。その復興には莫大な時間がかかる。「ものづくり県」としての災害復旧・復興に取り組むことを要請する。

**的場質疑** 「ため池」の整備については、これまで幾度も質問や指摘をしてきた。今回の福山市や府中市の被災を受けて、町工場や事業所があり、この災害を受けて閉じてしまふことは避けなければならぬ。その復興には莫大な時間がかかる。「ものづくり県」としての災害復旧・復興に取り組むことを要請する。

### 備後地域振興協議会

#### 豪雨災害の復旧と福山港・道路事業の整備促進を国へ要望

7月9日開催の「備後地域振興協議会総会・決起大会」において、国への要望書と決議を採択しました。それを受け12日に、福山市建設局等行政と県議団で国土交通省と国会議員へ要望活動を行いました。

福山港については、「国際バルク戦略港湾政策の推進」「クルーズ船誘致と受け入れに向けた環境整備」「防災機能の強化」等の要望を行いました。また、7月豪雨災害に伴う緊急要望として、「山陽自動車道・直轄国道などの早期啓開、JR山陽本線等の早期復旧や交通円滑化に向けた国の支援」の要望を行いました。

### 産業競争力強化 対策特別委員会



「南海トラフ巨大地震」による瀬戸内海への津波の到達時間と規模、また、潮位6.5メートルが予測されるメガ級の台風や大潮、集中豪雨などと重なった時の予測、事態対応について

■今後選考予定の受給申込者の不受給者発生と進学の断念が危惧される「広島県大学進学奨励金」の拡充について

《8月7日》  
**的場質疑** 豪雨災害から1カ月が経過したが、被災地は厳しい状況が続いている。県・各市町の職員は激務の中、復旧に向けて一所懸命頑張っているが、復興に向けてはこれからであり、知恵を絞りながら早急に取り組んでいく必要がある。商工業関係事業所の被害状況について、直接被害が105事業所、間接被害が296事業所、それに加え商工会議所と商工会等が把握している被害が1241事業所と、非常に多くの事業所が被災した

**的場要請** 広島県はものづくりの小さい町工場や事業所があり、この災害を受けて閉じてしまふことは避けなければならぬ。その復興には莫大な時間がかかる。「ものづくり県」としての災害復旧・復興に取り組むことを要請する。

**的場質疑** 「ため池」の整備については、これまで幾度も質問や指摘をしてきた。今回の福山市や府中市の被災を受けて、町工場や事業所があり、この災害を受けて閉じてしまふことは避けなければならぬ。その復興には莫大な時間がかかる。「ものづくり県」としての災害復旧・復興に取り組むことを要請する。

と報告であった。もっと多くの被害があると思うが、まず、現在、操業停止や休業している事業所がどれぐらいあり、どういった状況なのかを伺う。

**的場質疑** 融資も当然必要であるが、これから工場や事業所の施設の修繕や更新、建て直すためには補助金が必要ではないか。「グループ補助金」の制度と範囲について問う。

**答弁** 「グループ補助金」は、中小企業等がグループを形成して行う施設復旧等の費用の一部を支援するものです。補助率は、中小企業者等につきましては4分の3、中堅企業等が2分の1です。

2つ目は、「持続化補助金」です。対象者は、製造業は20人以下、卸・小売・サービス業は5人以下の間接被害を含む小規模事業者で、補助率は3分の2です。上限額は、従前は50万円でしたが、200万円まで引き上がっています。

### 県議会議員提案条例 広島県産木材 利用促進条例制定

広島県産木材の利用促進に向けた施策を総合的に推進するため基本条例を制定しました。

条例では、①県と関係者による県産木材利用促進に向けた連携②林業及び木材産業の振興による本県経済の活性化③森を守るための循環型社会の形成④県の責務等を定めています。

今後は、森林保護と循環型経済の活性化、水源涵養等防災の観点からも「広島森づくり」を進める必要があります。